

新型コロナウイルス感染症拡大防止品として マスクの贈呈について

中国遊技機商業協同組合（松原陽輔理事長）では、5月21日、日本赤十字社広島県支部（支部長湯崎英彦広島県知事）において、新型コロナウイルス感染症拡大防止品として不織布マスク 26,000 枚の目録を松原陽輔理事長から同支部の泉水直事務局長に直接手渡した。

当組合では、社会貢献活動の一環として、平成29年度から広島県赤十字血液センターが実施する献血に協力させていただいている。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で血液が不足していることから、早期に献血に協力させていただくことと、マスクの寄付を申し出たところ、「幅広く活用させていただくために、日本赤十字社広島県支部に寄付していただければありがたい。」旨の言葉を受け、このたびの贈呈に至った。

贈呈に当たり、松原理事長から、「医療現場、血液センター等で働かれる方に感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染予防に役立ててください。」旨の挨拶があり、泉水事務局長からは「病院で勤務する職員や献血に従事する職員等に配布して有効に活用させていただく。」旨の謝辞があった。

日本赤十字社広島県支部



「写真」 向かって左側 泉水事務局長

右側 松原陽輔理事長